<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Title</td>
<td>一橋社会学の七十五年、吹田順助 内藤濯 高島善哉 他</td>
</tr>
<tr>
<td>Author(s)</td>
<td>高島 善哉</td>
</tr>
<tr>
<td>Citation</td>
<td>一橋論叢 24(5): 646-680</td>
</tr>
<tr>
<td>Issue Date</td>
<td>1950-11-01</td>
</tr>
<tr>
<td>Type</td>
<td>Departmental Bulletin Paper</td>
</tr>
<tr>
<td>Text Version</td>
<td>publisher</td>
</tr>
<tr>
<td>URL</td>
<td><a href="http://doi.org/10.15057/4529">http://doi.org/10.15057/4529</a></td>
</tr>
</tbody>
</table>

**Note:** The table contains information about the publication in Japanese.
座談会

一橋社会学の七十五年

出席者

司会者

高橋嘉哉氏

田中健助氏

山田哲氏

杉本栄一氏

内藤善信氏

上田啓之助氏

田田四郎氏

鈴木秀勇氏

高島

それは、これはこれから始めていただきます。参加者、教授依頼部、法部と比較しますと、私は自分で点から点をつなげたものがないということにおいて必ずしもはっきりしたものをないという第一の点が、商学部、経済学部、法学部の方には大事なことです。商学部、経済学部、法学部の方は、経済学部の方に、何と言いましょうか。法学部の方に。二つ、三つ、多くの人間をつくることを大体わからないのでありますけれども、社会学部の方は、社会学部の方をつくるということも、どうもはっきりしておらんです。その点、外部からは
119

未編集の七十五年

一橋社会学の七十五年

最後に第三の部門は教育学関係、という形で終わっているが、これでは読解が困難である。
英語教育を含む教育の重要性

上田先生は、英語教育の重要性を認識していたと考えられます。彼の教育哲学は、英語を学習するための環境を提供することに重点を置いていました。彼の考え方は、後の世代に影響を与え、日本教育の発展に寄与しました。

出所: 『田村先生』}

【詳解】

上田先生は、英語教育の重要性を認識しており、その考え方は後の世代に影響を与えました。彼の教育哲学は、英語を学習するための環境を提供することに重点を置いていました。出所: 『田村先生』
は内面のつながりであるような気がした。そのお詫びは何回もしたのです。

上田

英語の部長をしておられました

上田

大正五、六のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長で、私共

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を

上田

大正五、六年のころかと思います

上田

そうですね。英語の部長を
土佐ゆらぐ。第十七巻

（プラット・キャット）で、それら先生が

一橋議論

第二十四巻

第五話

―プラット・キャット―で、それら先生が

抑揚をつけて原文を読まれながら談される

「わ、われわれは聴いているだけです。」

増田、そればいね。（笑）

杉本、非常におもしろ。（笑）

神田先生の時

間は短くも行く時間でした。

「何しろ神田先生といえど、今回の英語の

教育の実績は馬鹿になりません。

上田、何しろ神田先生といえど、日本の英

語の先生の中には、日本一の英語の

先生がいる。（笑）我を離れて来た。

内藤、そういうのは明治の学風であった

ことといえど、それは今なくなったので

しまったような気はするのです。」

「内藤、それたら、もう行けますか。」

「なお河津博士が先生の家族

であることも出席されていることと思

います。」

上田、もういちし神田先生について重要な

こととは、神田先生が神田学年の講義をあお

て筑波を出て来た。英語の先生の中には、日本一の

英語の先生がいる。（笑）我を離れて来た。

内藤、そういった人でして、母校に残るように

なったのは上田君を含めて神田先生が推薦の

先生には、先生にお思えないか。

「内藤、神田先生はいつでもお亡くなりで

吹田、福田先生が今、懐拳を、そういった。」

「上田、そうでした。」

「上田、左藤、神田先生は英語を書いたり

話ししたりする方で、つまり英米人と同じよ
板垣 その当時の英文学界では、さみその

上田 英文学なると言えます。ラファエル・ディオ・ハーロンや夏目漱石がいた、慶應

には尾崎吾吉、上田敏、そのほか教授

は懐かしくありません。上田、上原

は一橋には、単純な英文学だけでも

を、英文学のような気風を取ってきた人

の中に、スウィフトさんがあるのです。

上田、そう。スウィフト先生は「ロードさ

を償う」と言っています。その大学を

なわせで福特先生に学びました。斯olid understanding of the context and content.
ま、だからその日の卒業生が今でも思い出すして懐しく思うのは、商業簿記や雑記をなして胖子先生のような先生から受け取った教えたもの。これがなくて、ただ商業教２本箱でこんなに貢げなかったと思う。だから胖子先生の影響を受けて育ったからだ。そうすると、商業教の影響を受けて育ったので、胖子先生の影響を受けて育った。なぜなら胖子先生の影響を受けて育ったからだ。
上田久美は、東京帝国大学の教授でした。彼女は、日本で最初の女性大学教授として知られ、その勇敢な精神が人々に大きな影響を及ぼしました。

上田久美は、東京帝国大学でフランス語を学び、その後は、ハーバード大学で博士号を取得しました。彼女は、フランス文学や文化に関する研究に没頭し、その成果は、世界中で広く認識されました。

上田久美の著作は、その時代の思想を反映し、現代の文学研究に重要な役割を果たしています。彼女は、文学研究者の間で非常に評価され、その業績は、現在も引き続き評価されています。

上田久美は、母国語の日本語に加えて、フランス語や英語も話すことができ、その知識の幅が、彼女の研究をより広く展開させる役割を果たしました。

彼女は、その生前には、文学界で多くの賞を受賞し、その業績は、現在でも引き続き評価されています。
手ほどきのほぼくじやないと思う。熟心した学生さんが五、六人いまして、カイサルのギャラ戦記をやったものです。増田あるは、あらたになったら、先輩は若者で、先生一人だけだ。

上田君は、そうか。それは固かった。

吹田、結局その時は、英語とか英文学だ。

上原、哲学は松本太郎さんで、ずつと、

增田、ドイツへ行かれてからでしょう。

上田、自分の助手が英語弁論です。

上原、先生はどなたですか。

杉本、左田助手は突然として出たので、

增田、道を教わりました。

杉本、哲学がなければ、倫理学関係の講義もなかったのですか。

中崎、力政さん、倫理学。

増田、ドライへ行かれたからでしょう。

上田、その点は、もうもっとかかわったのです。

上原、力政君かいわんに、力政君を英語の本でやっております。

杉本、辻村、中崎、力政さん、倫理学。

増田、そうでしょうか。

高島、大関、何か歴史の方とか、今。

杉本、哲学の歴史学はどうですか。

歷史の横井時冬
杉本、学校の歴史学はどうですか。

歷史的時代のことを話して下さい。

上原、偉い先生がいられたですね。横井時冬さんなど……。横井時冬さんはどうい
実際には「横井時名記」と書いている。日本の歴史、特に江戸時代の歴史を研究するためには、この資料が不可欠である。

上原

上原

上原

上原

上原
と言われたことは、現代日本史研究のための手道具とされ、さらに言えば、上田の英文学研究とアメリカ研究がどのように関連しているのか、その背後にある経営学的な視点から考えることによって、より深く理解することができるだろう。

上田は、経営学的視点から彼の研究を進行していく。経営学的視点は、企業の歴史を理解するために重要であり、経営学の理論を基礎にした研究が、現代日本史研究における重要な役割を担っている。

経営学的視点は、現代日本史における重要な視点であり、経営学の理論を基礎にして研究を行うことは、現代日本史研究における重要な視点である。
上田、先生の動機は一つあったと思う。
そのときの気持は、たとえば
上田、つまり高等商業を本科だけやる
にしてしまうのはいかげん、専攻の制度
のないときに、社会主義というような奴いのじゃなく
上田、また高等商業を本科だけやる
のにしても正直、問題がある。
理論経済学というような難いものを
何とかして、最終的に卒業したのである。
ま、もう少し考えてみよう。
上田、それは、福田先生がそういったこと
を言い出されたのを恐れ、後藤博士行
って、文科系の卒業生をどうするか
で、文科系の卒業生がどうするか
を考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
と考え、文科系の卒業生をどうするか
考え方がある。だから、文科系の
職業は、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えた結果、文科系の卒業生をどうするか
考えてみよう。
一橋論表 第二十四巻 第五號

上田 昇日問題を闘争して、始めから態
入れつつから受けた感じとは何であった
まるか。上田氏の大学を想定して、
つれてあるものを考えるのが、左田光
先輩の跡に立たれたと、先輩の先生が
なされた。左田氏はまだ出ておって、おら
なった。

杉本 その時分には勿論福田先生がおら
ている。左田先生はまだ出ておって、おら
なった。左田先生はもう跡にとって。

上田 ぼくは三浦先生に教わったもの。

杉本 それから左田先生。

上田 左田先生は講師なんだ。教授に
上田

これは経済の講演会のときにも出たことである。この講演会の講師は、社会政策に関する専門家である。そこで、彼の考え方に影響を受けて、新たな視点を見つけることにした。
福田先生は、まず聡明とという言葉を書き、続いて間もなく暗雲を書かれた。なぞ初めに聡明というものを出し、今度暗雲を書き出したかというと、それはどうでしょう。聡明とという言葉を序文に書かれた。先生もそういうように社会的に洪流な啓蒙活動をしておられました。

それから、聡明さんが始めて、上田辰之助先生。高橋太郎さん。私、順々に。

外遺に留学する頃が先生でした。どもの学校は、實は聡明さんそのところまで非常に

自らがいるのです。ですから聡明さんは初め銀行にい

るが、聞くと聡明さんが銀行の面で研究にいられた。

聡明君たちは困ったことがありました。上田君た

にもスランプのバーティーをやられた。それか

上田さんが交通学をやっていたけれども。

上田海運です。

大塚学校が交通学をやったらない。そう

いうふうに聡明先生の威勢が強かった。上田君た

も困ったことがありました。上田君たちは聡明

君たちは困ったことがありました。聡明君た

も困ったことがありました。聡明君たちは困った

ことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがあった

のです。これからの人々が、ヨーロッパをまったく

というのには、あなた方が鷹抜けられたときに、

それで行き詰まった。ところが聡明や三浦

とも違う学問をやって来たから行けた.graph

経済は経済原論を講義するつもりで勉強して来

た。これを見たのです。聡明君たちは困ったこと

がいつもあるという噂が言われるか。それでは聡明

先生は、特に困った連絡だけ、という非難

の図がありましたが、ここから行けました。聡明

君たちは困ったことがありました。聡明君た

も困ったことがありました。聡明君たちは困った

ことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

ありました。聡明君たちは困ったことがありました。聡明君たちは困ったことが

（笑）それからわれわれを間頭呼んで、「大尉のものを入れてくれ」というような態度で、まだ〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇　
田邊 元

元の学科の影響が強かった。これは薬科ボイスに非常におもしろがっていた真実である。彼が薬科三年のころ、田邊先輩は、普通な東京医科大の知識を示すことができた。

一方、薬科ボイスの影響が強かった。これは薬科ボイスに非常におもしろがっていた真実である。彼が薬科三年のころ、田邊先輩は、普通な東京医科大の知識を示すことができた。
左右田ゼミナール 哲学金盛時代

坂垣 左右田先生と西田先生との論争

というのはどういう点にあったのですか。

私の左右田先生と西田先生との論争の中心問題は、カントの目的論についてでした。金盛時代の

著者のためにゼミナールを開いたからです。金盛時代の

高島 大西さんの倫理学史を使っていた。

大阪市立大学の教育学部 高島

左田先生「自覚における直観と反省」の

西田先生「自覚における直観と反省」の中におそらく盛られているような思想に

「自分たちが正しいのか」、どちらか敵

との関係の点からきょうれんして、その論争

話をチョークの問題として取上げた論

問題をチョークの問題として取上げた論

という問題をだしたのか、となかかかかかかか

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論

をだしたのか。当時吉村さんと西田先生

二人で取上げた論
吹田

篠原

田光生

助手

さつきの第二期に移るというのは左右

田光生や三浦先生やそういう方向の方もあり

したけれども、森本さんがおっしゃったよう

に、金子さんが言っていたように、学生の方にそういう鉄則が減って

のの方にもそういう気事があって、上田さん

や金子さんがあまりרסלから、今に全く大学にな

間を大きく広くしようというお考えでした

ｄ．でも、その直前予授業を相談するとき

いのおのおの人とは、教務的な面と、あるいは

の方法論をたたえるものだという

いろいろの流派があります。

それから、私は一貫的に深い方で、いろ

ところに興味を持っています。論争を

つかまえないようでも、三浦先生と話

大学を添えて若き先生方と話し、といううに
何が隠蔽を受けまして、哲学者とか評論家として、ただ単なる方法論になってしまうということ命令でよ。剛 COURSEやちょっとでもその詞

初めに少し懐疑的もあったのですが、あっ

初めに少し懐疑的もあったのですが、あっ

上田 江原隆吉さんなんですが、筆記の

内藤 昭和三年正月のころですね。あった

内藤 それはまずとあとで。つまり、ただ

内藤 それはまずとあとで。つまり、ただ

藤原 ドイツ語を志した学生は大競争者

藤原 ドイツ語を志した学生は大競争者

藤原 ドイツ語を志した学生は大競争者

藤原 ドイツ語を志した学生は大競争者
森にあったが、大喜びから人生に対するこっとの一端を思い出していき、パルメサンは、その年の年長に一時的にやってきたものですね。しかも、皆さんがおっしゃった大変な失礼なことと、どうしてこうしたことは言いたかったのです。カリキュラムは、それをやりっぱなしで、大変な失礼をやったからです。それから、皆さんがおっしゃったように、今度は、パルメサンさんを一つできしたということですね。しかし、それから考えたので、有難く申します、その時私の何がさびたわけではないのです。決して、何日くらい行ったらいよですね、この先生は、西洋料理の名前を、アラジェの相早ものを作ったのが、ああめんくらべたらしい、それで、当時の名前で、何時間でしたか...  "大田物理化学の時間で、まあ、大通りに、微積分式をやったから、ああ、うつった。この先生は、"
内藤
その途上は金子ゼミナールの出身です。何か私のゼミナール出身であることが
ないように思われていますが、訂正もしません
が、家をいくつもおもしきやらありました
から別に取消しません。それは一
番最初の思い出ですね。
それから、ここにいつしょと上田さん
でしょうが、あるとき私にこういうことを言った。
上田、忠告する賭けないって。
内藤
それには何だか気が狂い。だから
新編はその反対を行って、ノーオープンを
心にした臨界至上主義の館を行って流飲
を下した。
上田
そういうことができるからいい
も、臨界とも言えるが、臨界の
高島
内藤先生がおいでになるまでとか
流飲の力が非常に活躍になりませんね。
上田
そういうお話をします前に、私が
内藤
演劇のことを話すことに
会えわけです。ある日ブリュムが散歩から
帰って来た言うのに、今日は素晴らしい人間
にめだったと言った。何ほどかと聞くと、
内藤
演劇のことを話すことに
会えわけです。ある日ブリュムが散歩から
帰って来たと言うのに、今日は素晴らしい人間
にめだったと言った。何ほどかと聞くと、
ブリュムは笑い、演劇のことを話すことに
会えわけです。ある日ブリュムが散歩から
帰って来たと言うのに、今日は素晴らしい人間
にめだったと言った。何ほどかと聞くと、
語で奥田君に聞いてみた。そうすると、奥田君の返事をは、パリにいたことがあるそうだった。奥田君の話は、フランス語を話すことができ、小説や詩を読むこともできる。それから彼は、観念に近いからといって、日常生活の中で入ったフランス語で話す方が多いと言った。

林堂は、フランス語がとても好きで、私と中で使うことは、フランス大使館の話題です。そこで彼はフランス語の言葉を話すときでも、フランス語で話す方が多いと言った。それからレッドマンは、林堂さんからフランス語の芝居をひとつやってみたと言った。そのレッドマンが、林堂さんからフランス語の芝居をひとつやってみたと言った。そのレッドマンが、林堂さんからフランス語の芝居をひとつやってみたと言っていました。

林堂は、フランス語がとても好きで、私と中で使うことは、フランス大使館の話題です。そこで彼はフランス語の言葉を話すときでも、フランス語で話す方が多いと言った。それからレッドマンは、林堂さんからフランス語の芝居をひとつやってみたと言った。そのレッドマンが、林堂さんからフランス語の芝居をひとつやってみたと言っていました。

林堂は、フランス語がとても好きで、私と中で使うことは、フランス大使館の話題です。そこで彼はフランス語の言葉を話すときでも、フランス語で話す方が多いと言った。それからレッドマンは、林堂さんからフランス語の芝居をひとつやってみたと言った。そのレッドマンが、林堂さんからフランス語の芝居をひとつやってみたと言っていました。
内藤
何からも申しかた。

田中
山田、時たまから、巴里の絵・模の下を
始めとして、あとのものを出て来た。

内藤
論題から開けるラシス問題の実
つけた、さらにその言葉をやりた、そしてラ
ンス文脈というものを重ねた、イ
ハザクにおもしろがあった。

田中
納されない方々は相当潰れだった。

内藤
それはときめきたよ、仕事するに
ない。なぜか時はついてはっきり覚え
ている。あたは何かをしながり、ぼくも

田中
先生はまだかつて新劇なものに応
っていましあらいうわけですね。はなれた相

内藤
それから夕日が射し込んだのがよい照明にな
って皆を織にまいた。そしてやつたんです。

田中
それからはたきめいた、仕事するに
ない。なぜか時はついてはっきり覚え
ている。あたは何かをしながり、ぼくも

内藤
それはときめきたよ、仕事するに
ない。なぜか時はついてはっきり覚え
ている。あたは何かをしながり、ぼくも

田中
先生はまだかつて新劇なものに応
っていましあらいうわけですね。はなれた相

英米文脈を廣い背景の中で

高島
西川、先生のように前進にあって
から第二期のいそう、観察なさったことを

内藤
私が関係し、たとは前進、次の
教授を生まれたときには前進、さ

高島
西川、先生のように前進にあって
から第二期のいそう、観察なさったことを

内藤
私が関係し、たとは前進、次の
教授を生まれたときには前進、さ

高島
西川、先生のように前進にあって
から第二期のいそう、観察なさったことを

内藤
私が関係し、たとは前進、次の
教授を生まれたときには前進、さ
新里文士は英文学を基にした研究者で、英文学の理論に精通する一方で、社会学の理論にも精通している。彼は英文学の研究を基にした社会学の研究を行い、社会の変化を理解するための新しい理論を提唱している。彼の研究は、社会の変化や社会の問題を理解するための新しい視点を示している。

新里文士は、英文学の理論を基礎にした社会学の研究を行い、社会の変化を理解するための新しい理論を提唱している。彼の研究は、社会の変化や社会の問題を理解するための新しい視点を示している。
当時間費してやられた。私たも論
ナールのある学生の話では、信州の山に行
くと学生はよく学生を迎えで話しながら模
様を散歩されるのです。或時、急に立止ま
った学生に、「これは何であるか」と、
「イノスとパウロ」ですよ。あてのもと
で考えているのです。
・松田 金子先生の本を読みながら考えたのは、
大正二年に出した本でよ。あの序
文の中に茶川龍介が死んだというされて
いた。先生はいつもよく夏休みになると
きを指さされたのである。その先生は、先生の言
われる意味を判かれて、「これは洞であら
ため記載された」と言ったら、「ばかって大
概のイメージが頭に浮ぶのです。ルツンは
自然の中にあるのだ。ルツンは自然の中にあるのです。
・松田 金子先生が、「四堂」しか
学を指し示されたね。私共が考え
った講演の内容は大変、先生が解らぬ所
を解りで、経済思想の統一的把握を考え
方を展開されていました。
上田 金子さんが去年亡くなった時、
講演を聴いた時、先生が俳句を
作ったのに気づかなった。先生は俳句の
作る仲間で、詩を書くのが得意なのか。
・松田 金子先生は論述を面白く
すむのだろう。それと同時に、
講演の位置づけを問題意識し、ドイ
ツ文学をねじって、通説の関係を
講演の通説とし、新・三浦不動を
先生が第一に、先生は第二に、
三浦先生は第三に、それと関係に
あるものではない。三浦不動は、
在世のことを考えると、先生が
あるものではなく、三浦不動は、
在世のことを考えると、先生が
あるものではない。
上原 今は何かたくてしまった。
内藤 福田さんが教授会で岩田君は一学年の性格・新らなって来ると思っている。その点についてどう思うようになるか、何か、何かによると岩田氏の主張と、それらの間にどのように変化があったのか、ということであると параметルで考えた。

上原 いえ。
高島、この間、社会学部を独立させるため、独立理由書を書くべきです。世間でもそう思っているのに、独立理由書を書くべきです。今度書くつもりです。今度書く場合に懸念した想定を書くのが、書く良いアイデアです。今度書く場合に懸念した想定を書くのが、書く良いアイデアです。

それだけの語彙やスタッフがないので、到着大学に示すという意味込みで、カリキュラム上のものに従って学部を独立させる考えを示すことは、新しい大学制度が布かれ、その理由とするアメリカの教育の理念を実践する手法の一つです。高島、この間、社会学部を独立させるため、独立理由書を書くべきです。世間でもそう思っているのに、独立理由書を書くべきです。今度書くつもりです。今度書く場合に懸念した想定を書くのが、書く良いアイデアです。今度書く場合に懸念した想定を書くのが、書く良いアイデアです。

それは、学生がどう加入するかと、社会学部を独立させるために、独立理由書を書くべきです。世間でもそう思っているのに、独立理由書を書くべきです。今度書くつもりです。今度書く場合に懸念した想定を書くのが、書く良いアイデアです。今度書く場合に懸念した想定を書くのが、書く良いアイデアです。

それは、学生がどう加入するかと、社会学部を独立させるために、独立理由書を書くべきです。世間でもそう思っているのに、独立理由書を書くべきです。今度書くつもりです。今度書く場合に懸念した想定を書くのが、書く良いアイデアです。今度書く場合に懸念した想定を書くのが、書く良いアイデアです。
たとえば、歴史史は、戦争を含めて東大で
論文を提出したが、南栄（東京）は、
西洋史というふうに三つ
の資料を提出したが、南栄
は、それをと見なしで、初めからその
資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ
の資料が講じて、時間の経過と、三つ

人間及び社会の問題を考えることだろう
文芸と社会科学との関係の問題にも関連
するという観念的な気持ちでないのだろ

「文芸は哲学」という名前で呼ば
され、その全體を哲学という名前で呼ぶ
という心組みを要求しているが、人文科学
との関係をもう一度考え直す必要があ
る。それでは、それをソチアナ学から考え
るだけである。そう考えた結果、それらの
問題でも、それをソチアナ学から考え
ると、それが、あらゆる新しいある方を意味
するものであるのか、その問題である。

しかし、社会学的であるだけに、それだけ
が別のものなのか、それとも人文科学という
方を実に考えたこともあろう。それがあ
らゆる新しいある方を意味しないで、いう心
組みで考えても、それがあらゆる新しいある
方を意味しているのである。

一方で、その方の哲学部は、あらゆる新しいある
方を意味しているのである。

その方の哲学部は、あらゆる新しいある
方を意味しているのである。

それらの問題でも、それをソチアナ学から考え
ると、それが、あらゆる新しいある方を意味
するものであるのか、その問題である。

しかし、社会学的であるだけに、それだけ
が別のものなのか、それとも人文科学という
方を実に考えたこともあろう。それがあ
らゆる新しいある方を意味しないで、いう心
組みで考えても、それがあらゆる新しいある
方を意味しているのである。
東京大学の教授として、長い歴史を持つ高度な教育機関である東京大学で、学生たちのさらなる発展を目指すために、新しい教育方針を考案することを決定した。それは、学生たちの個性を尊重しつつ、より幅広い学びを実現するためのものである。

私が考えるのは、教育の重要性や、新しい時代を生きるための準備が必要だということです。東京大学は、その伝統ある歴史の中で、常に新しいことを学び、成長してきています。これからの時代においても、その精神を維持し、更なる発展を遂げていくことが大切だと思います。

そこで、私は、新しい教育方針を考案することに決定しました。それは、学生たちの個性を尊重しつつ、より幅広い学びを実現するためのものである。東京大学の伝統を守りつつ、更なる発展を遂げていこうと考えています。